

様式第2号（政務活動実施報告書）

令和5年4月7日

井原市議会議員
大滝文則 様

井原市議会議員 柳井一徳

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和5年3月30日(木)～3月31日(金)
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	開催場所：東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2F
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	研修名：財政の基礎と資料の見方 財政状況資料集 Part 1 財政状況資料集 Part 2 財政状況資料集を使って出来る財政質疑のポイント
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	立命館大学 政策科学部 教授、博士（政策科学） 森 裕之
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



前回の財政基礎研修レベル2の復習と財政基礎研修のレベル3及び質疑のポイントを2日間学んだ。

初日午前中は決算カードの要点の復習とさらに深く見るために財政状況資料集について講義を受ける。決算カードは各年度の地方財政状況調査表に基づき抽出・整理したもので歳入・税金・性質的歳出・目的別歳出・財政収支や経常収支比率などがわかる一覧表である。

このカードは類似団体と比較できるので有効に活用したい。人口が3万人から5万人以下の都市が本市との類似団体となる。

午後からはもっと詳しく財政状況を見るために財政状況資料集の読み方やポイントを学んだ。この資料集も類似団体と比較できる資料で特別会計や企業会計、一部事務組合など普通会計以外も比較分析や内訳分析が出来る。財政状況の指標がどのような理由からなっているのか過去5年で比較してみることが出来て、今後どのようにしていくつもりなのか記載してあるので質疑などしやすくなっている。

2日目は前日の復習と細かく各費目を分析することを学んだ。人件費、扶助費、物件費、公債費などすべての性質的歳出や経常比率分析表に本市の歳出の理由や今後の計画などコメントがあるので分析しやすく、疑問点は質疑などで活用できる。また、公債比率などで公債費と財政調整基金との比較など将来に財政危機を招くことのない財政運営をすることは非常に重要であり、危機に陥った京都市や新潟市の例を挙げ注視することが大切であると力説されていた。このことは市民を守る意味でも議会の大きな意義であると思った。

本市の場合経常収支比率は令和2年度は令和元年度より5ポイント下げることが出来ていて良い数字であり、類似団体84団体中22位で全国平均93.1%であるのに対し89%であった。これは下水道事業が公営企業会計へ移行したことで補助費等が大幅に減少したこととコロナ対策費を優先したことが寄与しているからで単年度だけの数値で恒常的ではない。財政調整基金が毎年減少しており、これからも執行部がいう選択と集中、スクラップ&ビルドなど注視しなければならないと感じた講義であった。